

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業実施状況及び効果検証シート

単位:千円

No.	補助・単独	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②事業の対象	事業 始期	事業 終期	令和2年度 事業費 (決算額)	うち、	実施状況	検証結果	事業担当課
							コロナ交付金 充当額			
合計						2,864,374	2,325,020			
I 感染拡大防止策と医療提供体制の整備及び治療薬の開発						303,688	228,000			
1	単	窓口における飛沫防止対策事業	① 感染症予防対策のため、市民が来庁する窓口にパーティションを整備する。 ② 地方公共団体	R2.9	R3.3	2,801	2,000	<input type="checkbox"/> パーティション ・ローカウンター型 (W1500×H600) 300枚 ・ハイカウンター型 (W1500×H700) 20枚 ・特注 (秘書広報課: W1400×H900) 2枚 【合計】2,801千円	窓口カウンターや出先機関に設置し、それまでの簡易な飛沫防止シートから平面性や透過性に優れたアクリル樹脂製のパーティションに代えたことで、感染対策を踏まえた安心して利用できる窓口環境を整備した。	人事課
2	単	避難所等における新型コロナウイルス感染症対策	① 避難所等の感染症予防対策のため、避難所等に備蓄物資を配備する。 ② 市役所本庁舎、避難所 (出先機関、まちづくりセンター、小中学校 等)	R2.4	R3.3	33,252	32,000	避難所等の感染症予防対策のため、避難所等に備蓄物資を配備した。 ・発電機 (158台) 15,443千円 ・避難所間仕切り (62セット) 3,267千円 ・ホワイトボード (31台) 1,582千円 ・噴霧機 (除菌水付き・134台) 1,089千円 ・スポットクーラー (60台) 4,470千円 ・段ボール間仕切り (100個) 682千円 ・投光器 (366台) 3,146千円 ・その他消耗品等 (体温計等) 3,573千円 【合計】33,252千円	不特定多数の住民が利用する避難所において、感染予防に必要な物品を整備することで、感染拡大防止及び利用者の安心に寄与した。 (利用者の声) ・入口に体温計が備え付けられており、検温により健康状態を確認することができたため安心できた。 ・体調不良者は、間仕切りにより隔離された空間で過ごしていたため、罹患のリスクが減少できて良かった。	危機管理課
3	単	民生委員高齢者見守り活動費	① 感染症予防対策のため経費増となる高齢者見守り支援活動を支援するため、報償費を増額支給する。 ② 民生委員	R2.6	R3.3	6,190	5,000	新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、新しい生活様式を実践しながら見守り支援活動を行う民生委員に対し、感染防止対策費 (マスク、消毒液等) として報償費を増額した。 ・一人当たり:1,000円/月 増額 【合計】6,190千円	地区会長にアンケート調査したところ、感染防止対策費をマスク等の感染予防グッズの費用に充てることができたとの声があった。 感染拡大当初、対策グッズが品薄で値段が高騰していたこともあり、非常に助かったとの声も挙がっている。	福祉保健課
4	補	学校保健特別対策事業費補助金 (感染症対策のためのマスク等購入支援事業)	① 市内学校における感染症予防対策の徹底を図るため、清掃用消毒液、手指用消毒液等の保健衛生用品を購入する。 ② 市内小学校35校、市内中学校25校	R2.7	R3.3	5,120	2,000	市内小学校 (35校) ・中学校 (25校) にアルコール消毒液、マスク等を配布した。 ・アルコール消毒液 4,766千円 ・使い捨てマスク 83千円 ・その他消耗品 271千円 【合計】5,120千円	消毒液が不足している中、業務用消毒液を大量に一括購入できたことによって、卒業式や入学式等、学校休校中に実施する行事において嚴重に感染症対策が図られ、児童や参加者の安心・安全に寄与した。	学校施設課

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業実施状況及び効果検証シート

単位:千円

No.	補助・単独	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②事業の対象	事業 始期	事業 終期	令和2年度 事業費 (決算額)	うち、	実施状況	検証結果	事業担当課
							コロナ交付金 充当額			
5	補	学校保健特別対策事業費補助金 (学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業)	① 市内学校における感染症予防対策を強化するため、保健衛生用品や学校給食調理員の熱中症対策用品の購入、家庭と学校との連絡体制強化に必要な電話回線機器を購入する。 ② 市内小学校35校, 市内中学校25校, 市内高等学校1校	R2.7	R3.3	77,390	38,000	感染症対策に必要な備品や消耗品を学校長の判断で迅速に対応できるように、学校の規模に応じて予算を配分し執行した。また、スケールメリットを図るため、全校共通で購入する空調服や電話機等については一括発注を実施した。 ・給食調理員空調服(288組) 5,220千円 ・電話機(11台) 3,443千円 ・備品 (モニターテレビ, 空気清浄機等 370件) 26,390千円 ・その他消耗品 42,337千円 【合計】77,390千円	アルコール消毒液やパーティション等の感染症対策だけでなく、学校再開に伴い、授業や学校生活を滞りなく運営するために学校裁量で必要備品を整備できるようにしたことで、各校の感染状況に応じた対策をしながら学校運営が可能となった。 特に学校からは、空き教室を利用した分散授業を実施するためのモニターテレビの整備について、一人一台のタブレット配布もあり、コロナ禍においての授業をより良いものにできたとの声が多く聞かれた。	学校施設課
6	補	文化芸術振興費補助金 (文化施設の感染防止対策事業)	① 文化施設における感染症予防対策のため、消毒液・空気清浄機等の物品を購入する。 ② 市施設(呉市文化ホール)	R2.7	R3.1	3,275	1,000	<input type="checkbox"/> 対象施設 呉市文化ホール <input type="checkbox"/> 感染防止対策消耗品・備品購入 ・消毒液(170・5缶) 42千円 ・空気清浄機(22台) 2,589千円 ・空気清浄機(5台) 644千円 【合計】3,275千円	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために空気清浄機や消毒液を購入し、利用者等への安心・安全の確保に寄与した。	文化振興課
7	補	文化芸術振興費補助金 (文化施設の感染防止対策事業)	① 文化施設における感染症予防対策のため、消毒液・空気清浄機等の物品を購入する。 ② 市施設(海事歴史科学館, 呉市立美術館, 蘭島文化振興施設「松濤園」)	R2.7	R3.2	5,899	2,000	<input type="checkbox"/> 対象施設 海事歴史科学館 ・パーティション(5セット) 247千円 ・消毒液(620本) 1,182千円 ・マスク(1,500枚) 58千円 ・非接触型体温計(12個) 52千円 ・ゴム手袋(1,700枚) 8千円 ・空気清浄機(8台) 942千円 <計> 2,489千円 <input type="checkbox"/> 呉市立美術館, 蘭島文化振興施設「松濤園」 ・消毒液(170・7缶) 59千円 ・空気清浄機(23台) 2,707千円 ・空気清浄機(5台) 644千円 <計> 3,410千円 【合計】5,899千円	<input type="checkbox"/> 海事歴史科学館 海事歴史科学館内の新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために空気清浄機や消毒液等を購入し、来館者の安心・安全の確保に寄与した。 <input type="checkbox"/> 呉市立美術館, 蘭島文化振興施設「松濤園」 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために空気清浄機や消毒液を購入し、利用者等への安心・安全の確保に寄与した。	文化振興課 海事歴史科学館学芸課
8	補	介護保険事業費補助金 (介護サービス事業所等に対するサービス継続支援事業)	① 介護サービス事業所・介護施設等が、感染機会を減らしつつ、必要な介護サービスを継続して提供できるように、通常想定されないかかり増し経費等に対して支援を行う。 ② 介護サービス事業所・介護施設等	R2.4	R3.3	10,403	3,000	新型コロナウイルス感染者が発生した市内の介護サービス事業所に対し、職員の不足を補うための超過勤務や消毒・仕切りの設置などの感染拡大防止に費やした経費について支援を行った。 <input type="checkbox"/> 助成対象 6法人(9事業所) <input type="checkbox"/> 助成金額 10,403千円	各事業所が、感染拡大防止に努めた結果、感染者は最小限に抑えることができ、休業期間についても最小限で済んだ。	介護保険課

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業実施状況及び効果検証シート

単位:千円

No.	補助・単独	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②事業の対象	事業 始期	事業 終期	令和2年度 事業費 (決算額)	うち、	実施状況	検証結果	事業担当課
							コロナ交付金 充当額			
9	単	新型コロナウイルス感染症対策事業補助金 (帰国者・接触者外来開設病院への助成)	① 帰国者・接触者外来を開設する病院に対して、必要な費用を助成する。 ② 地域医療団体	R2.4	R3.3	11,400	11,000	帰国者・接触者外来設置協力医療機関に対して、設置に必要な感染対策費用(※)を助成した。 □4病院合計支給額 10,900千円 □1診療所支給額 500千円 【合計】11,400千円 ※排気ファン整備、空気清浄機、PCR保冷バック等購入費	助成により感染者及び濃厚接触者の早期発見、早期受入、早期治療の実施が可能となった。 また、呉市における感染拡大の抑制及び限りある専門医や医療機器等の効率的・効果的な活用にもつながった。	福祉保健課
10	単	PCR検査体制強化に係る機器購入	① PCR検査実施に伴い、その他の検査を安全に実施するための検査室を整備する ② 市施設(環境試験センター)	R2.10	R3.3	3,559	3,000	新型コロナウイルスPCR検査や他の検査を安全に実施するため、検査室を整備するに当たって必要な機器を購入した。 ・クリーンベンチ 1台 2,178千円 ・恒温水槽 1台 611千円 ・低温恒温器 1台 770千円 【合計】3,559千円	新型コロナウイルスPCR検査と他の検査を安全に実施するために検査室を整備することにより、職員の安全確保及びPCR検査体制を強化でき、感染拡大防止に寄与した。	環境政策課
11	単	すこやかセンターくれ空調設備修繕	① 新型コロナウイルス感染症の流行下において、感染症対策の一翼を担う保健所機能を充実させるため、緊急的に空調関連設備を修繕する。 ② 市施設(すこやかセンターくれ)	R2.6	R3.2	39,600	39,000	新型コロナウイルス感染症対策として、施設内空調機器(吸入冷水機)1台の修繕を実施した。 □空調機器修繕 39,600千円	これまでは、空調機能の故障により、冷暖房及び換気が使用できない状況が多発していた。 今回の修繕により、空調機能全体が改善され、冷暖房及び換気の機能が向上したことにより、来訪者からは、快適に過ごせるといった意見があった。 また、新型コロナウイルス感染症対策で、連日、積極的疫学調査等に従事している保健所職員の健康管理及び施設内での感染リスクの軽減に効果をもたらした。 さらに、令和3年度に実施している新型コロナウイルス感染症ワクチンの集団接種会場となっており、接種時の感染リスクの軽減にも寄与した。	地域保健課
12	単	すこやかセンターくれ空調関連設備修繕	① 新型コロナウイルス感染症の流行下において、感染症対策の一翼を担う保健所機能を充実させるため、緊急的に空調関連設備を修繕する。 ② 市施設(すこやかセンターくれ)	R2.11	R3.2	57,109	57,000	新型コロナウイルス感染症対策として、施設内空調機器(冷却水ポンプ及び中央監視装置及、端末伝送装置等)の修繕を実施した。 □中央監視装置及び端末伝送装置等交換修繕 32,150千円 □B1系統空調機及び冷水ポンプ等修繕 24,959千円 【合計】57,109千円	これまでは、空調機能の故障により、冷暖房及び換気が使用できない状況が多発していた。 今回の修繕により、空調機能全体が改善され、冷暖房及び換気の機能が向上したことにより、来訪者からは、快適に過ごせるといった意見があった。 また、新型コロナウイルス感染症対策で、連日、積極的疫学調査等に従事している保健所職員の健康管理及び施設内での感染リスクの軽減に効果をもたらした。 さらに、令和3年度に実施している新型コロナウイルス感染症ワクチンの集団接種会場となっており、接種時の感染リスクの軽減にも寄与した。	地域保健課

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業実施状況及び効果検証シート

単位:千円

No.	補助・単独	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②事業の対象	事業 始期	事業 終期	令和2年度 事業費 (決算額)	うち、	実施状況	検証結果	事業担当課
							コロナ交付金 充当額			
13	単	消防署所仮眠室整備修繕	① 消防職員間の感染予防を強化し、消防救急体制の維持を図るため、仮眠室を個室に改修する。 ② 市施設（消防署所4施設）	R2.9	R3.1	20,368	19,000	<input type="checkbox"/> 昭和分署（個室数8室） 事業費 4,598千円 畳ベッド 519千円 <input type="checkbox"/> 倉橋出張所（個室数9室） 事業費 6,050千円 畳ベッド 584千円 <input type="checkbox"/> 仁方出張所（個室数5室） 事業費 2,439千円 畳ベッド 325千円 <input type="checkbox"/> 安浦出張所（個室数9室） 事業費 5,269千円 畳ベッド 584千円 【合計】 20,368千円	消防職員の仮眠時における感染防止対策のため、大部屋仮眠の4署所(昭和分署・倉橋出張所・仁方出張所・安浦出張所)を個室化した。結果、仮眠時において感染した職員は発生せず、市民に対し継続して消防の任務を果たすことができています。	消防総務課
14	単	感染症対策資機材等整備	① 消防職員の活動時の感染を防ぎ、消防救急体制の維持を図るため、必要な資機材や消耗品等を整備する。 ② 地方公共団体	R2.4	R2.9	9,666	3,000	・超微粒子噴霧装置, 専用液 2,921千円 ・感染防止衣 1,776千円 ・感染患者搬送袋 655千円 ・感染防止ゴーグル 727千円 ・飛沫拡散低減装置 576千円 ・その他, マスク, 消毒液等消耗品 3,011千円 【合計】 9,666千円	消防職員の活動中における感染を防止するため、必要な資機材等を購入し備えることで、感染することなく消防救急体制を維持することができた。	消防総務課
15	単	就学時健康診断事業	① 感染症予防対策のため、就学時健診の1回当たりの受診者数を制限し実施回数を増やして実施する。 ② 地方公共団体	R2.9	R3.1	3,268	3,000	3密回避のため、1会場当たりの受診者数を、原則100名未満とし、実施回数を増やして実施した。 <input type="checkbox"/> 委託料 639千円 (医師派遣26人) <input type="checkbox"/> 報償費 1,241千円 (歯科医師14人, 介助員204人) <input type="checkbox"/> 消耗品 1,388千円 (マスク, フェイスシールド, 消毒液等) 【合計】 3,268千円	不特定多数が受診する就学時健康診断において、実施回数を増やしたり、感染症対策として必要な物品を整備することで、受診者や保護者の安心及び感染症予防対策に寄与した。	学校安全課

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業実施状況及び効果検証シート

単位:千円

No.	補助・単独	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②事業の対象	事業 始期	事業 終期	令和2年度 事業費 (決算額)	うち、	実施状況	検証結果	事業担当課
							コロナ交付金 充当額			
16	単	新型コロナウイルス感染症対策に関する新聞折込広告業務	① 国・県・市の施策や、新しい生活様式等を分かりやすく市民に広報するため、新聞折込広告を作成する。 ② 地方公共団体	R2.5	R3.2	4,248	2,000	<input type="checkbox"/> 1回目新聞折込 配布日：6/14の朝刊 配布数：70,000部 ・委託料 967千円 <input type="checkbox"/> 2回目新聞折込 配布日：11/29の朝刊 配布数：70,000部 ・委託料 1,751千円 <input type="checkbox"/> 動画配信 ・委託料 951千円 ・報償費 579千円（手話通訳） 【合計】4,248千円	新型コロナウイルス感染症に関する施策や新しい生活様式など、即時広報すべき案件についての新聞折込広告を行うことにより、タイミングを逃すことなく広報できた。 併せて、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた注意喚起等の動画を配信し、平均3,000回の視聴があるなど、効果的な広報活動を行うことができた。	秘書広報課
17	単	くれトレ事業	① 新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛に備え、高齢者や子どもが気軽にできる軽運動動画を制作する。 ② 地方公共団体	R2.7	R2.10	2,992	2,000	3分41秒の軽体操動画を作成し、YouTubeでの配信及びDVDの配布を行った。 <input type="checkbox"/> 作成枚数：1,000枚 <input type="checkbox"/> 配布箇所：地域包括支援センター、子ども会等約530か所及び希望者	YouTubeにおいては、約8,600回の視聴があり、多くの人に活用または興味を持っていただいたことがわかった。 DVDにおいては、メインターゲットとなる地域包括センターに聞き取りを行ったところ、地域コミュニティにて実際に活用されているとの回答があった。 また、職員派遣型講座「出前トーク」にて、令和3年度より「くれトレ」講座を開講し、月1回程度のペースで各所から依頼を受け、実施している。一方で、一部の高齢者からは、もう少し優しい内容でもよかったとの声があった。	秘書広報課
18	補	母子保健衛生費補助金	(乳幼児健康診査個別実施支援事業) ① 新型コロナウイルス感染症の拡大状況を踏まえ、集団健診を個別健診に切り替えて実施する。 ② 生後3か月を超え満6か月に達しない児	R2.5	R3.3	7,148	4,000	(乳幼児健康診査個別実施支援事業) 3か月児の集団健診を個別健診に切り替えて実施 <input type="checkbox"/> 3か月児健診 6,210円×1,151件=7,148千円	3か月児の集団健診を個別健診に切り替えて実施することで、健診の適齢で受診することができ、例年どおりの受診率となった。 また、個別健診で実施することで、近くの小児科で都合の良いときに受診ができたり、予防接種と同じ日に受診ができ、待ち時間が少なくなると、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に寄与した。	地域保健課

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業実施状況及び効果検証シート

単位:千円

No.	補助・単独	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②事業の対象	事業 始期	事業 終期	令和2年度 事業費 (決算額)	うち、	実施状況	検証結果	事業担当課
							コロナ交付金 充当額			
II 雇用の維持と事業の継続						1,317,594	1,306,000			
19	単	緊急対応型雇用創出事業	① 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により就労機会を失った人等を、呉市が一時的に会計年度任用職員として雇う。 ② 当該事業により雇用した会計年度任用職員	R2.6	R3.3	30,930	30,000	令和2年5月27日から先着順で随時募集を実施し、最終的に27名を会計年度任用職員として採用した。 □報酬 24,252千円 □期末手当 2,215千円 □費用弁償 538千円 □共済費 3,925千円 【合計】30,930千円	新型コロナウイルス感染症拡大による雇用情勢の悪化に対し、一定の雇用創出を図ることができたとともに、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い業務量が増加した部署等を中心に、一定の人員確保ができた。 また、令和3年度も引き続き会計年度任用職員として勤務する職員もおり、会計年度任用職員としての人材発掘にもつながった。	人事課
20	単	広島県感染拡大防止協力支援金の共同実施に係る負担金	① 広島県による緊急事態措置の期間中、休業や営業時間の短縮を実施した中小企業者に対し支給される支援金の一部を負担する。(負担割合 広島県:市町=2:1) ② -	R2.4	R2.6	91,383	91,000	新型コロナウイルス感染症等の拡大防止のため、広島県と呉市が共同で取り組む広島県感染拡大防止協力金について、呉市負担分を支出した。 □支給件数 1,252件 □負担金額 91,383千円	小規模店舗の事業者を中心に非常に助かったとの声があった反面、規模が大きく従業員を複数人雇っている店舗の事業者からは金額が足りなかったとの声があった。	商工振興課
21	単	呉市地域公共交通事業者運行支援金	① 新型コロナウイルス感染症により、公共交通を取り巻く環境が悪化し、その影響の長期化が予測されることから、公共交通事業者に対し、今後の事業継続を支援する。 ② 呉市民の生活に必要な交通手段であるバス路線又は航路を持つ事業者で、呉市が現に単独支援を実施している事業者	R2.9	R2.11	151,600	150,000	□実施時期 令和2年10月9日～10月15日 □支出内訳 [①交付事業者数 ②交付額] ・路線バス ①1 ②141,900千円 (うち、呉広島空港線分 ②24,800千円) ・生活バス ①10 ②6,200千円 ・航路 ①3 ②3,500千円 【合計】151,600千円	地域公共交通を支えている交通事業者を支援することで、事業の撤退や、大幅な減便はなく、市民の移動の手段を確保できたことに一定の効果があった。 バス事業者、航路事業者にヒアリングを実施したところ、適切な支援であったとの評価をいただいた一方で、継続的な支援を求められている。	交通政策課
22	単	小規模企業者応援給付金	① 新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けている小規模企業者の事業継続を応援するため、家賃など幅広い用途に使用可能な給付金を呉市独自に支給する。 ② 小規模企業者等	R2.6	R2.9	520,397	520,000	□申請件数 4,938件 □交付決定 4,814件 (97.5%) □不交付 124件 (2.5%) □交付金額 481,400千円 □委託料 38,997千円 【合計】520,397千円 (参考) 申請の多い業種:飲食業	事業者からは、スピード感のある対応で急場を凌いだ、あるいは非常に助かったとの声があり、小規模企業者の事業継続を支援できた。	商工振興課
23	単	新型コロナウイルス支援制度相談業務	① 国や県、呉市などが準備している様々な支援制度を、行政書士が分かり易く案内する相談窓口を設置する。 ② 地方公共団体	R2.8	R3.3	2,745	2,000	□実施期間 令和2年8月1日～令和3年3月31日 □実施体制 令和2年8月1日～9月30日 毎日9:00～16:00 令和2年10月1日～令和3年3月31日 平日9:00～16:00 □相談件数 1,388件	事業者からは、行政書士からの説明が分かり易く、各種制度の手続きを円滑にすることができたとの声があり、支援制度の利用促進につながった。	商工振興課

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業実施状況及び効果検証シート

単位:千円

No.	補助・単独	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②事業の対象	事業 始期	事業 終期	令和2年度 事業費 (決算額)	うち、	実施状況	検証結果	事業担当課
							コロナ交付金 充当額			
24	単	呉市新型コロナウイルス感染症対策取組事業者（交通事業者）支援給付金	<p>① 新型コロナウイルス感染症により特に大きな影響を受けている公共交通事業者に対し、利用者に安心・快適に利用してもらうための対策や、今後の事業継続を支援する。</p> <p>② 利用者に対する啓発ポスター等の掲示を行うなど、新型コロナウイルス感染症対策に取り組む交通事業者で、呉市内のみを運行する路線又は航路を持つ事業者並びに呉市が現に単独支援を実施している事業者</p>	R2.7	R2.9	56,800	56,000	<p>□実施時期 令和2年7月31日～10月5日</p> <p>□支出内訳 [①交付事業者数 ②車両数 ③交付額]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・路線バス <ul style="list-style-type: none"> ①2 ②96両 ③14,400千円 ・生活バス <ul style="list-style-type: none"> ①10 ②39両 ③5,850千円 ・貸切バス <ul style="list-style-type: none"> ①9 ②62両 ③9,300千円 ・乗合タクシー <ul style="list-style-type: none"> ①2 ②3両 ③450千円 ・タクシー <ul style="list-style-type: none"> ①127 ②504両 ③25,200千円 （うち、福祉タクシー ①19 ②34両 ③1,700千円） ・航路（フェリー） <ul style="list-style-type: none"> ①2 ②2隻 ③1,000千円 ・航路（フェリー以外） <ul style="list-style-type: none"> ①4 ②4隻 ③600千円 <p>【合計】56,800千円 ※事業者数合計は135。ただし、区分を重複している事業者がいるため、区分毎の事業者数の合計と合致しない。</p>	<p>地域公共交通を支えている交通事業者を支援することで、事業の撤退や、大幅な減便はなく、市民の移動の手段を確保できたことに一定の効果があった。</p> <p>関連団体からは、県内でもいち早く取り組んでいたいただき、適切な支援であったとの評価をいただいた一方で、継続的な支援を求められている。</p>	交通政策課
25	単	新型コロナウイルス対策港湾施設利用者緊急支援事業（使用料減免（特別会計・1年分））	<p>① 新型コロナウイルス感染症の影響により売上高が大幅に減少した事業者等の港湾施設使用料を減免することで、事業継続等の支援を行う。</p> <p>② 港湾施設を利用する事業者</p>	R2.4	R3.3	24,177	23,000	<p>□港湾施設使用料減免（内訳）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・荷さばき地 14,636千円 ・上屋 7,929千円 ・待合所附属建物 1,203千円 ・港湾施設付属建物 212千円 ・駐車場 160千円 ・港湾施設用地 37千円 <p>【合計】24,177千円</p>	<p>対象者にアンケートを実施し、回答のあった5社の内、4社が今回の使用料減免によって大いに経営の助けになったとあり、1社についても経営の助けに多少なつたとの回答があったことから、事業継続のために大いに役立てることができた。</p> <p>また、旅客船事業者から今後も持続的な支援を求める声もあり、未だに利用者の回復に至っていない厳しい経営状況であることから、今後の支援策についても期待されている。</p> <p>なお、基準を売上高3ヶ月平均としたことで対象とならなかった（1ヶ月単位であれば対象であった）事業者から不満の声も聞かれた。</p>	港湾漁港課
26	単	子育て世帯への応援給付金	<p>① 収入の減少や子育ての負担などの影響が生じている子育て世帯に対して、国の子育て世帯臨時特別給付金（1万円）のほか、呉市独自の給付金を支給する。</p> <p>② 児童手当（本則給付）を受給する世帯</p>	R2.6	R3.3	249,199	249,000	<p>□給付件数 24,398人</p> <p>□給付金 243,980千円</p> <p>□事務費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郵便料 896千円 ・委託料 4,323千円 <p>【合計】249,119千円</p>	<p>学校の休校や、外出の制限等で子どもの在宅時間が増え、食事等うち時間に係る負担が増した。給付金を支給することで、子育て世帯の負担軽減を図ることができた。</p>	子育て支援課

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業実施状況及び効果検証シート

単位:千円

No.	補助・単独	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②事業の対象	事業 始期	事業 終期	令和2年度 事業費 (決算額)	うち、	実施状況	検証結果	事業担当課
							コロナ交付金 充当額			
27	単	ひとり親世帯への応援給付金	① 経済的・精神的負担などの影響が特に大きいひとり親世帯に対して、呉市独自の給付金を支給する。 ② 児童扶養手当の受給資格者・ひとり親家庭等医療費受給者世帯	R2.6	R3.3	97,813	97,000	<input type="checkbox"/> 給付件数 1,941世帯 <input type="checkbox"/> 給付金額計 97,050千円 <input type="checkbox"/> 事務費 ・郵便料 287千円 ・委託料 480千円 【合計】97,817千円	支給後のアンケート（複数回答）では、使い道として、食費や光熱水費の生活費70.5%、子どものため53.6%、貯金21.6%という結果であった。 児童扶養手当受給者に限らず、支給停止や手当を受給していない人など、新型コロナウイルス感染症の影響を受けやすいひとり親世帯に広く給付金を支給することで、ひとり親世帯の負担軽減に寄与した。特に児童扶養手当を受給していない世帯からの反響が大きかった。	子育て支援課
28	単	新生児応援給付金	① 国の特別定額給付金の支給対象にならない基準日以降に出生した新生児に対して、呉市独自の給付金を支給する。 ② 基準日以降に出生した新生児の世帯主等	R2.8	R3.3	87,301	87,000	国の特別定額給付金の支給対象にならない基準日以降に出生した新生児843人に対して呉市独自の給付金を支給した。 <input type="checkbox"/> 給付件数 843人 <input type="checkbox"/> 給付金額計 84,300千円 <input type="checkbox"/> 事務費 ・委託料 2,592千円 ・その他 409千円 【合計】87,301千円	新生児に対して呉市独自の給付金を支給することで、次世代を担う子どもの出産を支援するとともに、妊産婦等の経済的負担の軽減を図ることができた。	子育て支援課
29	補	生活困窮者就労準備支援事業費等補助金	(自立相談支援機関等の強化事業) ① 困窮した対象者に対して早急に住居確保給付金を支給するため、自立相談支援員を加配し、自立相談支援体制を強化する。 ② 生活困窮者	R2.4	R3.3	5,249	1,000	新型コロナウイルス感染症の影響により増加した生活に困窮した相談者への対応のため、自立相談支援員を1名増加、配置した。 <input type="checkbox"/> 委託料 5,249千円	相談支援員の加配により、新型コロナウイルス感染症の影響で劇的に増加した一時的な生活相談のみならず、複合的な課題により恒常的に困窮している世帯への支援を支障なく行うことができた。	生活支援課

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業実施状況及び効果検証シート

単位:千円

No.	補助・単独	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②事業の対象	事業 始期	事業 終期	令和2年度 事業費 (決算額)	うち、	実施状況	検証結果	事業担当課
							コロナ交付金 充当額			
Ⅲ 次の段階としての官民を挙げた経済活動の回復						464,833	460,700			
30	単	呉市新型コロナウイルス感染症対策取組事業者支援給付金(宿泊事業者)	① 利用者が安心して利用できるよう、新しい生活様式に対応した取組を実施する宿泊事業者を支援する給付金を支給する。 ② 広島県の「新型コロナウイルス感染症対策取組宣言店」の宣誓書を掲示し、自主的に感染症予防対策を講じるホテル・旅館・簡易宿所	R2.7	R2.9	43,100	43,000	<input type="checkbox"/> 申請期間 令和2年7月17日～9月16日 <input type="checkbox"/> 申請件数 65施設 <input type="checkbox"/> 給付金額 43,100千円 (客室定員2,155×20千円)	要件を満たす事業者には客室定員数に応じて給付したことにより、直接的に宿泊事業者を支援することができた。 また、申請方法が単純で分かりやすかったという声が多く、ホテル・旅館のみならずゲストハウス等にも支援できたため、他の給付金では対象にならなかった施設等にも給付でき、適切な支援であったと評価の声があった。	観光振興課
31	単	呉市指定管理者新型コロナウイルス対策支援給付金	① 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金等収入が減少した、呉市が管理する公の施設の管理運営を行う指定管理者に対し支援給付金を支給する。 ② 市施設(53施設)の管理運営を行う、延べ17指定管理者	R2.9	R3.3	129,913	128,700	新型コロナウイルス感染拡大の影響により令和2年4月から5月まで休館・業務縮小等を実施し、かつ新型コロナウイルス感染症の防止対策を実施している施設のうち、利用料金等収入が減少している53施設の指定管理者17者に対して、支援給付金を交付した。 <input type="checkbox"/> 交付対象 53施設(17指定管理者) <input type="checkbox"/> 対象期間 令和2年4月から5月までに係る利用料金等収入の減収額の5割相当額 <input type="checkbox"/> 交付額 129,913千円	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、4月から5月まで休館・業務縮小等を実施し、利用料金等収入が減少することとなった指定管理施設に対して支援給付金を交付することで、営業再開後の管理運営の安定を図ることができた。 また、利用者数が大幅に減少する中でも各指定管理者において雇用の維持が図られており、令和2年度中に施設内で新型コロナウイルス感染症が拡大した事案は発生していない。 各施設の利用者アンケート結果においても、利用者の満足度は前年度と同水準を維持できている。	行政改革課 (関係各課)
32	単	屋内体育施設大型ミスト扇風機(8台)	① 空調機器を備えていない屋内体育施設に、室内空気の対流を回避する大型扇風機を設置する。 ② 市施設(屋内体育施設 8施設)	R2.10	R3.3	7,579	7,000	令和3年2月に市内体育施設8か所に大型ミスト扇風機を配置 <input type="checkbox"/> 備品購入 7,579千円(8台)	不特定多数の住民が利用する体育施設において、感染予防対策に必要な物品を整備することで、感染拡大防止及び利用者の安心に寄与した。 利用者からは、普通の扇風機よりも空気の対流を体感でき、施設を安心して利用できると評価の声がある一方で、出力最大で使用すると音がうるさいとの声もあった。	スポーツ 振興課
33	単	呉市飲食・小売業等支援ポータルサイト運営業務	① 市内飲食店等が行うテイクアウトやデリバリーの情報のほか、ドラッグストア等の小売店の情報をホームページで幅広く情報提供する。 ② 地方公共団体	R2.4	R3.3	2,489	2,000	<input type="checkbox"/> 委託期間 令和2年4月23日～令和3年3月31日 <input type="checkbox"/> 掲載店舗数 161店舗(令和3年3月31日) <input type="checkbox"/> アクセス数 650～850アクセス <input type="checkbox"/> 委託料 2,489千円	呉飲食組合にヒアリングしたところ、各店舗の詳細な情報や期間限定の取組等をリアルタイムで更新できる内容となっていたため、いろいろな情報を発信することができ、売上に結びついたという声があり、事業継続に寄与した。	商工振興課

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業実施状況及び効果検証シート

単位:千円

No.	補助・単独	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②事業の対象	事業 始期	事業 終期	令和2年度 事業費 (決算額)	うち、	実施状況	検証結果	事業担当課
							コロナ交付金 充当額			
34	単	クラウドファンディング活用応援プロジェクト	① 事業者がクラウドファンディング (CF)を活用して取り組む、事業継続に向けた販路開拓や新ビジネス展開等の事業を支援する。 ② 市内事業者	R2.6	R3.3	26,881	26,000	<input type="checkbox"/> 申請件数 29件 <input type="checkbox"/> 奨励金 20,190千円 <input type="checkbox"/> 補助金 6,642千円 <input type="checkbox"/> 委託料 49千円 【合計】 26,881千円 (参考) 申請のあったCF29件の総額 <input type="checkbox"/> 目標金額 34,900千円 <input type="checkbox"/> 調達金額 55,432千円 <input type="checkbox"/> CFに初挑戦の事業者 24件	新たな事業展開を温めていた事業者やCFに初挑戦した事業者からは、本事業が後押しになったとの声があった。 また、資金調達に加えて、CFを通じた事業のPRにつながったとの声があり、事業継続に向けた販路開拓や新ビジネス展開等を支援できた。	商工振興課
35	単	呉市新型コロナウイルス感染症対策取組事業者支援給付金(宿泊・交通事業者を除く)	① 感染症予防対策に取り組む事業者を応援するため、自主的対策に取り組む、かつ広島県より「新型コロナウイルス感染症対策取組宣言店」の宣言書の発行を受けて広島県HPで公表されている事業者に給付金を支給する。 ② 市内事業者	R2.8	R3.2	177,719	177,000	<input type="checkbox"/> 申請件数 2,790件 ※うち、不交付68件 ※途中自体・二重申請等38件を除く。 <input type="checkbox"/> 支払済店舗数 3,199店舗 (サービス業(飲食・理美容等)53%, 小売・卸売業25%, その他(建設・製造・福祉等)22%) <input type="checkbox"/> 給付金額 159,950千円 <input type="checkbox"/> 委託料 17,769千円 【合計】 177,719千円	事業者からは、県の政策(新型コロナウイルス感染症対策取組宣言店の宣言書の発行)をうまく活用した事業、かつスピード感のある対応で非常に助かったとの声があり、感染症予防対策に取り組む事業者を支援することができた。	商工振興課
36	単	くれまち店舗応援プロジェクト補助金	① 事業者が団体で取り組む、プレミアム付商品券の発行等、消費を喚起する事業に対して補助する。 ② 商工会議所等の地域団体、商店街団体、5以上の事業者(市内に事業所を有する事業者)で構成される団体	R2.10	R3.3	69,083	69,000	新型コロナウイルス感染症等の影響を受けている市内事業者が、団体・グループで取り組む、プレミアム付商品券の発行等、地域内の経済の活性化を促す事業に対して補助金を交付した。 <input type="checkbox"/> 申請期間 令和2年10月5日～12月28日 <input type="checkbox"/> 実施期間 令和2年4月1日～令和3年3月31日 <input type="checkbox"/> 対象事業 影響事業者が、団体・グループで取り組む、プレミアム付商品券の発行等、地域内の経済の活性化を促す事業 <input type="checkbox"/> 対象経費 ・事務経費(補助率8/10) ・商品券プレミアム部分※(補助率10/10) ※販売価格の30%が上限 <input type="checkbox"/> 補助金額 69,083千円(15団体)	事業者からは、前もって売上げを確保でき、助かったとの声があった。 また、地域の店舗が見直されるきっかけづくりになったとの声があり、消費喚起及び市内事業者の支援につながった。	商工振興課
37	単	図書消毒機の購入	① 利用者に安心して図書館を利用していただくため、感染予防対策として紫外線で図書を消毒する図書消毒機を購入する。 ② 市施設(市内図書館7施設)	R2.8	R2.10	8,069	8,000	令和2年10月23日、呉市立図書館7館に9台設置しサービスを開始した。 <input type="checkbox"/> 設置箇所 中央2、広2、昭和1、川尻1、音戸1、倉橋1、安浦1 <input type="checkbox"/> 購入費 8,069千円	利用者からは、「図書館の本を気持ち良く利用することができて安心だ」という声が寄せられた。さらに、本を除菌することにより、感染拡大防止に寄与した。	中央図書館

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業実施状況及び効果検証シート

単位:千円

No.	補助・単独	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②事業の対象	事業 始期	事業 終期	令和2年度 事業費 (決算額)	うち、	実施状況	検証結果	事業担当課
							コロナ交付金 充当額			
IV 強靱な経済構造の構築						778,259	330,320			
38	単	小中学校へのタブレット等整備	① 「GIGAスクール構想」の実現のため、市内の学校に学習用タブレット端末を整備する。 ② 市内小学校35校, 市内中学校25校	R2.6	R3.3	720,155	299,000	国の「GIGAスクール構想」の実現のため、市内小学校(35校)・中学校(25校)に学習用タブレット端末(iPad)を児童生徒一人一台整備した □購入台数 16,007台 □購入費 720,155千円(1台当たり44,900円)	令和2年度中に児童生徒一人一台整備が完了し、令和3年度当初から端末の家庭への持ち帰り運用を開始した。 端末を迅速に整備したことで、家庭学習や遠隔授業の実施体制を整え、コロナ禍においても児童生徒の学びを止めることなく、教育の機会を確保することができた。	学校施設課
39	単	電子図書館サービスの導入	① 新しい生活様式を踏まえ、利用者が図書館に来館せずに自宅のパソコンやタブレットで利用できる電子書籍を導入する。 ② 市施設(中央図書館)	R2.12	R3.3	29,913	9,000	令和3年1月20日電子図書館サービスを開始 □設定費用 4,092千円(サービス構築) □管理費用 315千円(サービス利用料) □電子書籍購入費用 25,506千円(コンテンツ6,850点) 【合計】29,913千円	利用者からは、「手軽に本を読むことができる」という声があった。また、眼の不自由な人のみではなく、すべての人への読書のバリアフリー化に効果があった。	中央図書館
40	単	税申告における感染防止対策	① 感染症予防防止を図るため、税申告を円滑にするシステム改修の実施や飛沫感染予防資材を設置する。 ② 地方公共団体	R2.10	R3.3	8,778	8,000	□システム改修による申告の円滑化 ※システム改修による申告時間の短縮と円滑化 ※WEBでの申告書作成システムの導入 ・システム改修委託料 3,441千円 ・WEBでの申告書作成システム使用料 330千円 ・システム改修に伴う資材購入(パソコン15台、プリンタ4台) 3,698千円 □申告会場における基本的な感染防止策の徹底 ※非接触式体温計による入場時の検温 ※相談受付ブースへのパーティションの設置 ※申告会場でのサーキュレーターの設定 ※申告者が入れ替わるたびに消毒 ・パーティション(18器) 644千円 ・サーキュレーター(4台) 54千円 ・体温計(6器) 31千円 ・その他 580千円 【合計】8,778千円	□システム改修による申告の円滑化 システム改修による申告時間の短縮と番号札による会場整理により、混雑を大きく低減できた。 WEBでの申告書作成には1,000人を超えるアクセス、提出は200件で、会場への来場者の縮減につながった。 □申告会場における基本的な感染防止策の徹底 検温には理解が得られ、感染防止に寄与したと考えている。準備等に労力を要したが、こまめな消毒等、来場者から衛生管理の徹底を評価された。	市民税課 (収納課)
41	補	無線システム普及支援事業費等補助金	① 情報通信基盤の整備を促進し、地域間の情報通信格差を是正するとともに、住民の利便性向上と市内企業の事業活動の活性化を図る。 ② プロポーザルにより選定された情報通信基盤整備事業者	R2.10	R3.3	12,320	12,320	郷原地区における光通信回線の未整備エリアについて、民間事業者に補助金を出すことで、整備を行った。 □加入者数 81件(令和4年1月末時点)	教育現場において、光回線を活用した一人一台のタブレットによる授業の実施が可能となった。 地域住民の利便性向上に寄与した。	情報統計課

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業実施状況及び効果検証シート

単位:千円

No.	補助・単独	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②事業の対象	事業 始期	事業 終期	令和2年度 事業費 (決算額)	うち、	実施状況	検証結果	事業担当課
							コロナ交付金 充当額			
42	補	障害者総合支援事業費補助金	(障害者総合支援事業費補助金(障害福祉分野のICT導入モデル事業)) ① 障害福祉サービス事業所等の生産性向上を推進するため、ICTを導入する経費を補助する。 ② 障害福祉サービス事業所等, 地方公共団体	R2.7	R3.3	7,093	2,000	障害福祉サービス事業所等の生産性向上及び感染防止対策を推進するため、事業者等がICTを導入する経費を助成した。 □補助件数 8事業所 □補助金額 6,811千円 □呉市実施研修会 282千円 【合計】7,093千円	ICTを導入したことにより、サービス利用者の情報共有が職員間の対話ではなく端末で可能になったため、感染リスクを軽減できた。	福祉保健課